



NICHIBAN

ニチバンLife

報告書 第106期 平成21年4月1日▶
平成22年3月31日

絆創膏発売

90
anniversary
周年



株主の皆様へ

販売拡大と利益確保に向けて
経営資源の集中を

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに平成21年4月1日～平成22年3月31日にいたる第106期(平成22年3月期)
事業報告書(ニチバンLife)をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当連結会計期間におけるわが国経済であります。前半は一昨年秋以来の世界不況の影響が残り、また冷夏による季節商品の伸び悩みと新型インフルエンザ流行による不安感の高まりなどにより景気低迷が続きました。後半にかけては新興国の高成長により企業の輸出が拡大し、設備投資や雇用にも下げ止まり感が出てきましたが、長引くデフレなどの影響により個人消費は低迷し内需関連は苦戦が続くなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下において、当グループは「事業フィールド」戦略を着実に実行し、真の「選択と集中」を推し進め、売上拡大と利益確保に努力いたしました。

上期は個人消費の冷え込みに加え新型インフルエンザの流行に伴うドラッグ需要の偏りなどがあり、メディカル事業分野において販売が伸び悩みました。また、テープ事業分野および海外販売においても企業業績の低迷と在庫調整が大きく影響し、販売数量が大きく減少しました。

下期に向けては経営資源を営業部門に集中し、メディカル事業分野において「販売20周年を迎えたロイヒシリーズの拡充」、「ケアリーヴ®ブランドの強化策」を推進するとともに、

テープ事業分野および海外販売において電気・自動車産業の回復基調に伴って販売の伸長を図ることで前年下期を上回ることはできましたが、上期の挽回にはいたらず、通期では昨年に比べ大幅な減収となりました。

一方、販売の大幅な落ち込みによる利益の低下をくい止めるべく、生産部門のコストダウンと全社をあげて「選択と集中」による経費削減を推し進めたことに加え、原材料費の抑制、不採算品の集約等を行いました。

この結果、全体の売上は374億8千6百万円と、前連結会計期間に比べ3.2%の減収となりましたが、反面損益面においては、経常利益は前連結会計期間比16.1%増の16億3千3百万円、当期純利益は20.4%増の9億1千1百万円となりました。

第107期(平成23年3月期)の取組み

平成22年4月からの第107期(平成23年3月期)におけるわが国経済は、製造業を中心とした業績回復傾向が顕著となり、「二番底」の懸念は後退し景気は緩やかに回復するものと見込まれますが、欧州における財政問題の影響や、国内のデフレ傾向、為替の動向等の懸念要素があり、依然として不透明感は拭いきれていません。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、自動車や電気関連市場が回復基調にあり需要の拡大が見込まれますが、デフレの加速による価格低落や原材料等の資源価格の上昇など予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような中、当グループは営業部門および研究開発部門への経営資源の集中をいっそう進め、販売拡大と利益確保を図ってまいります。

メディカル事業分野においては、ご愛顧いただいておりますケアリーヴ®のラインナップを拡充しブランド価値をさらに強化するとともに、高まる「安心・安全」のニーズに応える新たな製品を市場に投入し定着を図ってまいります。

テープ事業分野においては、多様化する消費者の感性や嗜好を捉えたパーソナル向け製品の拡充を図るとともに、農産・食品包装・食品販売など「食」をキーワードとしたターゲットへの販売拡大を推し進めてまいります。

海外販売においては、中国をはじめとするアジア諸国を中心に積極的な販売活動を展開し、メディカル関連製品やオフィスホーム製品など付加価値の高い製品の拡販に努めてまいります。

また、研究開発においては、創傷被覆・経皮吸収の技術を応用した大型新製品の早期上市に取組むとともに、環境配慮型生産に向けた環境技術開発を進めてまいります。

加えて、グループ全体として効率向上を図るため生産体制を再構築するなど、引き続き徹底した製造、仕入、管理等のコスト削減を実施し、全社を挙げて利益創出に取組むとともに、内部統制システムの確実な運用とスパイラルアップを行ってまいります。

今後とも適切なIR活動を通して、株主の皆様には弊社の取組みをより多くご報告できるよう努力してまいりますので、なにとぞ、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成
19年

▶ ケアリーヴ® 発売10周年

平成
20年

▶ セロテープ® 発売60周年

平成
21年

▶ ロイヒつぼ膏® 発売20周年

平成
22年

▶ 絆創膏 発売90周年

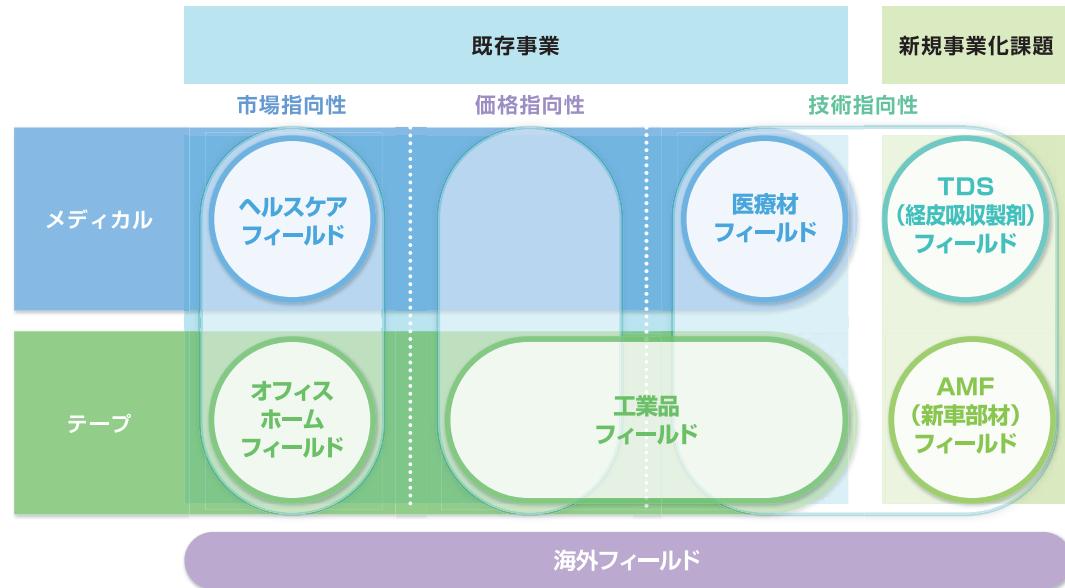


『事業フィールド』戦略の下、 開発力・営業力の強化を図り、 成長への基盤を構築する。

平成22年度の経済見通しは、各産業における在庫調整は一段落するものの景気の本格的回復には依然時間がかかるとされています。また、ヘルスケア・オフィスホームなどの消費者向け分野においては市場構造全体の変革が加速しつつあります。

このような環境の中、当社グループでは、さらなる「選択と集中」を進めると同時に、刷新された体制下で、開発力と営業力を強化し、「売上拡大・利益確保」への確固たる基盤を構築していきます。

..... 5つの事業領域と2つの新規事業化領域



※ TDS : Trans-Dermal Drug-Delivery System ※ AMF : Automotive Materials Field

基本施策

売上拡大・利益確保

売上拡大への積極施策の実施

大型新製品の開発

「コーポレートブランド」ならびに「製品ブランド」認知策の推進

開発力強化

営業力強化

社内体制の確立

品質安定化

内部統制の充実

薬事体制の整備



MEDICAL メディカル事業部

メディカル事業部は、「ヘルスケアフィールド」、「医療材フィールド」の2つの事業フィールドで構成されています。両事業フィールドを合わせた同事業部全体の売上高は115億4千万円(前年比3.4%減)、営業利益は23億9千万円(前年比6.0%減)となりました。

売上高／営業利益の推移 (百万円)



営業概況

ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場を対象とするヘルスケアフィールドにおきましては、発売20周年を迎えた「ロイヒつぼ膏[®]」を始めとするロイヒブランド製品や素肌タッチの救急絆創膏「ケアリーヴ[®]」シリーズを中心に、店頭のお客様に対して製品の高い付加価値を告知する取組みに注力いたしました。また、新製品につきましても、ロイヒブランドの新製品として「ロイヒフェルビ温[®]」と「ロイヒつぼ膏[®]大判」、「ケアリーヴ[®]」シリーズの新製品として「ケアリーヴ[®]パワー&フィット」、また、若い女性を対象としたフットケア製品として「靴ずれ専用絆創膏」、「スピール膏[®]CXワンタッチタイプ」等を発売いたしました。

医療材フィールド

医療機関向け医薬品市場を対象とする医療材フィールドにおきましては、従来より継続して低刺激・感染予防・安全性等に注力した取組みを行いました。特に「チューシャバン[®]」、「インジェクション[®]パッドマイルド」、「ステプティ[®]」シリーズ等の注射や点滴後の止血に特化した製品は、好調に推移いたしました。

TOPICS

新開発

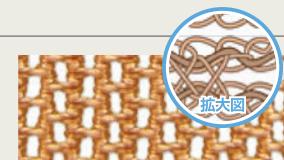
CARELEAVES 「ケアリーヴ[®]」

パワー&フィット

ケアリーヴ[®]シリーズより耐久性・フィット感・使い心地にこだわった「パワー&フィット」が誕生しました。

救急絆創膏で初めて、丈夫で伸縮性に優れ破れにくい「パワーネット」を採用。基材がネット状になっているので通気性・速乾性に優れ、「白くふやける」という従来の布タイプの欠点を解消しました。関節部に貼っても、曲げた際に隙間ができにくく、ぴったりフィットします。

※パワーネットとは、丈夫でストレッチ性のあるネット状の編物です。伸縮性に優れた編布として、水着、下着、服地用など、様々な用途に使用されています。



パワーネットが、ハードな作業や水仕事から傷口を守ります。

新開発！丈夫な
ストレッチ布テープ

POWER
NET!

水に強い粘着力

特徴1. 丈夫ではがれにくい

特徴2. 白くふやけにくい

特徴3. 優れたフィット感



新製品紹介



ロイヒつぼ膏[®]大判

直径3.9cmと、レギュラーサイズの約2倍の面積。腰や背中などの広い部位に便利で、貼りやすく、じんわり温かい効き目感をより感じられます。



ロイヒフェルビ温[®]

ロイヒブランドから発売のフェルビナク35mg配合+温感タイプのテープ剤。ウイングセパレーター[®]で貼りやすく、外出時に使い易い無臭タイプです。



スピール膏[®] CXワンタッチタイプ

サリチル酸を50%配合したバンテージタイプの角質はく離剤です。女性が手に取りやすいパッケージデザインにしました。



靴ずれ専用絆創膏

肌の動きにフィットする柔らか素材、高密度ウレタン不織布を使用。歩いてもはがれにくく、女性のためのフットケア製品です。



カテリーブ[®]I.V.

医療機関から求められる「低刺激性」と「固定性」に加え、末梢固定や小児患者のCVPに便利なお小さいサイズが加わりました。

テープ事業部

テープ事業部は、「オフィスホームフィールド」、「工業品フィールド」の2つの事業フィールドで構成されています。両事業フィールドを合わせた同事業部全体の売上高は259億4千6百万円（前年比3.1%減）、営業利益は20億8千6百万円（前年比25.4%増）となりました。



営業概況

オフィスホームフィールド

文具・事務用品業界を対象とするオフィスホームフィールドにおきましては、主力製品の「セロテープ®」を中心に新たな需要拡大に向けた取組みを積極的に行うとともに、長年ご愛顧いただいている両面テープ「ナスタック®」のキャンペーンを行いました。また、パーソナル向け機能品として「辞書引きふせん™」、「セロテープ®ぞうさんカッター（ポップカラー）」、「ちょっと便利な！和紙テープ」等の新製品を発売いたしました。その他、切り口がまっすぐとなる「テープカッター直線美®」は様々なマスコミ媒体で取上げられるなど、好評をいただきました。

工業品フィールド

産業用テープ業界を対象とする工業品フィールドにおきましては、食品関連分野とマスキングテープの分野において、ユーザーに向けた高機能製品拡大の取組みに注力してまいりました。特に食品関連分野では、はがし易いという機能を追求した「セロテープ®イージーオープン」が着実に売上を伸ばしたほか、低温でもよく付く「サラダカップ固定用テープ」を新たに発売いたしました。

また、輸出につきましては年度後半には回復が見られたものの、世界的な景気後退や「円高ドル安」の為替市況の影響を受け、年間では売上が前年実績を下回る結果となりました。

TOPICS

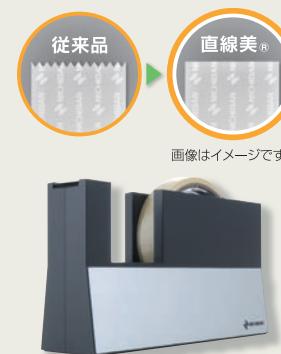
大好評発売中！

テープカッター 「直線美®」 Liner Beauty

切り口がまっすぐキレイ！テープカッター
「刃に技あり、テープに美あり。」

テープをまっすぐに切ることができるテープカッター。ギザギザの少ない新設計の刃（特許出願中）を採用することで、少ない力でテープをまっすぐに切ることが可能です。発売当初より大好評をいただいております。

- 特徴1. 高いデザイン性
- 特徴2. 片手で使える操作性
- 特徴3. 新感覚の切れ味
- 特徴4. 直線に切れる美しさ



「瀬畑 亮 セロテープアート®展 Vol.8」開催

「セロテープ®」でアート作品を制作するアーティスト・瀬畑亮氏による個展Vol.8が、ニッケコルトンプラザ（千葉県市川市）の「キューブギャラリー」で開催されました。



今回は、色つきのセロテープ®で描いた絵画を版画化した、新しい表現技法となる「セロ版画™」の展示もあり、24個の作品が会場を鮮やかに彩りました。

新製品紹介



ちょっと便利な！和紙テープ

“貼る” “留める” “束ねる”を手軽に出来る和紙テープ。和紙なので手で簡単にちぎれ、のり残りがしにくいので貼った表面を汚さずキレイにはがせます。



辞書引きふせん™

“辞書を使った学習法”に最適で、提唱者である深谷圭助先生も推薦するふせん。4色入って色分けにも便利に使えます。



セロテープ® ぞうさんカッター（ポップカラー）

女子中高生や若い女性が好きな雑貨からセレクトしたポップカラー6色のバリエーション。学校や家庭、職場でも楽しく使えます。



サラダカップ固定用テープ

低温でも安定した粘着力を発揮するゴム系粘着剤を採用し、耐水性に優れたOPP基材を使用しています。機械貼りの200m巻きもラインナップしました。

106期の主な活動

平成21年

5月 平成21年3月期(第105期)決算発表 IR活動

6月 第105期定時株主総会開催 IR活動

「たばねら[®]テープ」から『透明タイプ』新発売 新製品

7月 『ISOT2009』への出展 企業活動



8月 『書く・貼る・捺す・綴じる』展2009出展 企業活動

9月 「ナイスタック[®]」2009秋のありがとうキャンペーンを実施 企業活動『ロイヒフェルビ温[®]』新発売 新製品

10月 『インドネシア医療機器展示会(HOSPECS)』への出展 企業活動

11月 平成21年3月期(第106期)中間決算発表 IR活動

面積2倍の「ロイヒつぼ膏[®] 大判」新発売 新製品

12月 『エコプロダクツ2009』への出展 企業活動

『瀬畑 亮 セロテープアート[®]展 Vol.8』開催 PR活動

エコプロダクツ2009

セロテープアート[®]展 Vol.8

平成22年

1月 『ちょっと便利な!和紙テープ』新発売 新製品

『辞書引きふせん[™]』新発売 新製品『テープカッター直線美[®]』新発売 新製品3月 『ケアリーブ[®] パワー&フィット』新発売 新製品

『靴ずれ専用絆創膏』新発売 新製品

『かかと専用保湿テープ』新発売 新製品

『スピール膏[®] CXワンタッチタイプ』新発売 新製品

特集：「ロイヒつぼ膏[®] 発売20周年」

おかげさまで20周年

20th
Anniversary肩こり・腰痛の温感貼り薬
ロイヒつぼ膏[®]
誕生から20年

1932年の「ロイヒ膏」を出発点に、ニチバンは鎮痛消炎剤の取組みを続けてまいりました。その貼り薬として親しまれた「ロイヒ」の名前を継承し、1989年「ロイヒつぼ膏[®]」発売。

以来、多くのお客様に愛されて20年、「ロイヒつぼ膏[®]」は温感タイプの貼り薬ブランドへと成長いたしました。

ロイヒブランドのこれまで

発売当初のパッケージ



現行のパッケージ



1932

ロイヒブランド
誕生!!

1989

ロイヒつぼ膏[®]
156枚入り新発売!!NEW
ロイヒつぼ膏[®]大判

直径3.9cmで、レギュラーサイズの約2倍の面積。腰や背中などの広い部位に便利で、貼りやすく、じんわり温かい効き目感をより感じられます。

愛されて20年
ロイヒつぼ膏[®]

新登場!

NEW
ロイヒフェルビ温[®]

ロイヒブランドからフェルビナク35mg配合+温感タイプテープ剤が新登場。こんな鎮痛消炎剤が欲しかった・・・を「ロイヒフェルビ温[®]」が実現させました。



2009

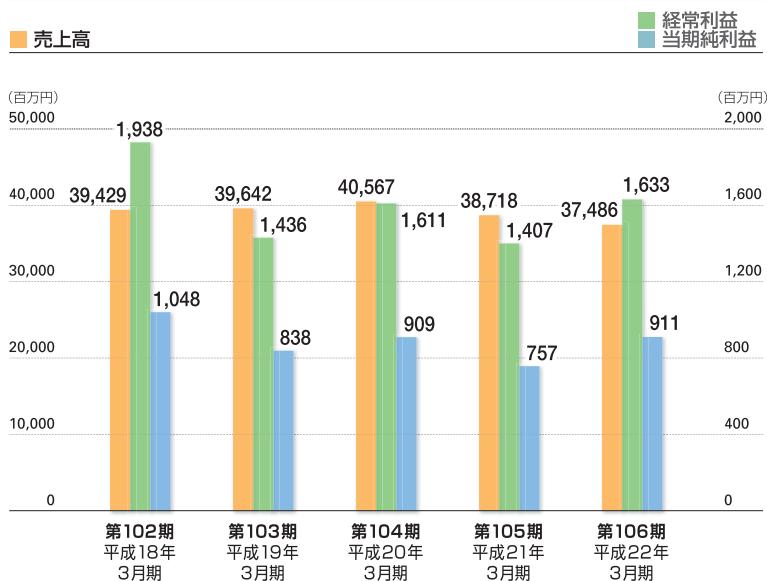
ロイヒつぼ膏[®]
発売20周年!!

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

主な経営指標の推移	第102期 平成18年3月期	第103期 平成19年3月期	第104期 平成20年3月期	第105期 平成21年3月期	第106期 平成22年3月期
売上高	39,429	39,642	40,567	38,718	37,486
営業利益	1,830	1,374	1,510	1,349	1,546
経常利益	1,938	1,436	1,611	1,407	1,633
当期純利益	1,048	838	909	757	911
純資産	20,827	21,350	21,941	22,150	22,873
総資産	45,186	45,673	44,852	42,797	43,735

売上高／経常利益／当期純利益



Point 1 貸借対照表

仕入及び在庫管理の徹底によりたな卸資産が減少し、十分な現預金を確保しております。

Point 2 損益計算書

景気の本格回復が遅れるなか、個人消費の低迷が続く厳しい状況により、売上高は減収となりましたが、各種コストの削減施策等により営業利益は増益となりました。

Point 3 キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純利益の確保とたな卸資産の減少等により営業キャッシュフローが増加し、期末においても十分な資金を確保しております。

連結財務諸表

(単位：百万円)

	貸借対照表		貸借対照表				貸借対照表	
	当期	前期	当期	前期	当期	前期	当期	前期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
1								
【資産の部】					【負債の部】			
流動資産	27,374	26,193	流動負債	10,946	11,190			
現金及び預金	9,158	7,470	支払手形及び買掛金	6,559	6,742			
受取手形及び売掛金	11,813	11,641	1年内返済予定の長期借入金	—	300			
有価証券	505	504	その他	4,386	4,147			
商品及び製品	2,805	3,313	固定負債	9,915	9,457			
仕掛品	1,288	1,337	長期借入金	2,000	2,000			
原材料及び貯蔵品	1,010	1,081	その他	7,915	7,457			
その他	792	843	負債合計	20,861	20,647			
固定資産	16,360	16,604	【純資産の部】					
有形固定資産	11,784	12,021	株主資本	22,957	22,295			
無形固定資産	44	66	資本金	5,451	5,451			
投資その他の資産	4,531	4,516	資本剰余金	4,186	4,186			
			利益剰余金	13,325	12,662			
			自己株式	△6	△5			
			評価・換算差額等	△84	△145			
			その他有価証券評価差額金	75	44			
			為替換算調整勘定	△159	△189			
			純資産合計	22,873	22,150			
資産合計	43,735	42,797	負債純資産合計	43,735	42,797			

(単位：百万円)

	損益計算書		損益計算書	
	当期	前期	当期	前期
	平成21年4月～平成22年3月	平成20年4月～平成21年3月	平成21年4月～平成22年3月	平成20年4月～平成21年3月
2				
【売上高】	37,486	38,718		
売上原価	26,995	28,208		
売上総利益	10,490	10,509		
販売費及び一般管理費	8,944	9,159		
営業利益	1,546	1,349		
営業外収益	202	202		
営業外費用	116	144		
経常利益	1,633	1,407		
特別利益	161	32		
特別損失	377	206		
税金等調整前当期純利益	1,417	1,232		
法人税、住民税及び事業税	658	405		
法人税等調整額	△152	69		
当期純利益	911	757		

(単位：百万円)

	キャッシュ・フロー計算書		キャッシュ・フロー計算書	
	当期	前期	当期	前期
	平成21年4月～平成22年3月	平成20年4月～平成21年3月	平成21年4月～平成22年3月	平成20年4月～平成21年3月
3				
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,894	3,094		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,479	△1,894		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△636	△2,419		
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,780	△1,218		
現金及び現金同等物の期首残高	7,471	8,690		
現金及び現金同等物の期末残高	9,251	7,471		

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		評価・換算差額等合計
株主資本等変動計算書 (平成21年4月～平成22年3月)									
前期末残高	5,451	4,186	12,662	△5	22,295	44	△189	△145	22,150
当期変動額									
剰余金の配当			△248		△248				△248
当期純利益			911		911				911
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						31	29	60	60
当期変動額合計	—	—	663	△0	662	31	29	60	723
当期末残高	5,451	4,186	13,325	△6	22,957	75	△159	△84	22,873

個別財務諸表

(単位：百万円)

貸借対照表	当期 平成22年3月31日現在		前期 平成21年3月31日現在		当期 平成22年3月31日現在	前期 平成21年3月31日現在	
〔資産の部〕					〔負債の部〕		
流動資産	24,338	23,183			流動負債	9,068	9,081
現金及び預金	7,373	5,725			支払手形及び買掛金	5,372	5,522
受取手形及び売掛金	11,438	11,268			1年内返済予定の長期借入金	—	300
有価証券	505	504			その他	3,695	3,258
商品及び製品	2,649	3,208			固定負債	9,297	8,908
仕掛品	953	984			長期借入金	2,000	2,000
原材料及び貯蔵品	785	840			その他	7,297	6,908
その他	632	652			負債合計	18,365	17,990
固定資産	12,857	13,015			〔純資産の部〕		
有形固定資産	8,604	8,676			株主資本	18,754	18,164
無形固定資産	39	62			資本金	5,451	5,451
投資その他の資産	4,213	4,276			資本剰余金	4,186	4,186
					利益剰余金	9,121	8,531
					自己株式	△6	△5
					評価・換算差額等	75	44
					その他有価証券評価差額金	75	44
					純資産合計	18,829	18,209
資産合計	37,195	36,199			負債純資産合計	37,195	36,199

(単位：百万円)

損益計算書	当期 平成21年4月～平成22年3月		前期 平成20年4月～平成21年3月		当期 平成21年4月～平成22年3月	前期 平成20年4月～平成21年3月	
売上高	36,204	37,469			経常利益	1,279	1,162
売上原価	26,543	27,828			特別利益	161	30
売上総利益	9,660	9,640			特別損失	147	171
販売費及び一般管理費	8,535	8,696			税引前当期純利益	1,293	1,021
営業利益	1,125	944			法人税、住民税及び事業税	504	278
営業外収益	291	389			法人税等調整額	50	64
営業外費用	136	171			当期純利益	839	679

(単位：百万円)

株主資本等変動計算書 (平成21年4月～平成22年3月)	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金合計 繰越利益剰余金						
前期末残高	5,451	4,186	4,186	744	6,254	1,533	8,531	△5	18,164	44	44	18,209
当期変動額												
剰余金の配当						△248	△248		△248			△248
別途積立金の積立					400	△400	—		—			—
当期純利益						839	839		839			839
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										31	31	31
当期変動額合計	—	—	—	—	400	190	590	△0	589	31	31	620
当期末残高	5,451	4,186	4,186	744	6,654	1,723	9,121	△6	18,754	75	75	18,829

会社データ

平成22年3月31日現在

会社概要

創立 大正7年1月
 本社所在地 〒112-8663
 東京都文京区関口2丁目3番3号
 資本金 54.51億円
 従業員数 760名

役員

代表取締役社長	堀田 直人	取締役相談役	小林 幸雄
専務取締役	須藤 孝志	常勤監査役	齋藤 栄助
取締役	鈴木 達也		歌橋 正明
	関谷 信行		木戸 俊介
	高橋 健征	監査役	露木 哲夫
	酒井 寛規		

(注) 監査役のうち木戸俊介、露木哲夫の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人

清明監査法人

株式の状況

会社が発行する株式の総数	140,000,000株
発行済株式の総数	41,476,012株
株主数	5,223名

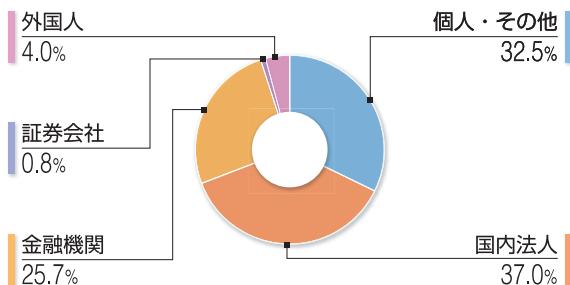
大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	13,516千株	32.60%
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,070千株	4.99%
株式会社みずほ銀行	2,070千株	4.99%
ニチバン取引先持株会	1,859千株	4.48%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,771千株	4.27%
あいおい損害保険株式会社	1,350千株	3.26%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	840千株	2.03%
株式会社りそな銀行	577千株	1.39%
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル	567千株	1.37%
キャップ バリュウ ポートフォリオ		
第一生命保険相互会社	555千株	1.34%

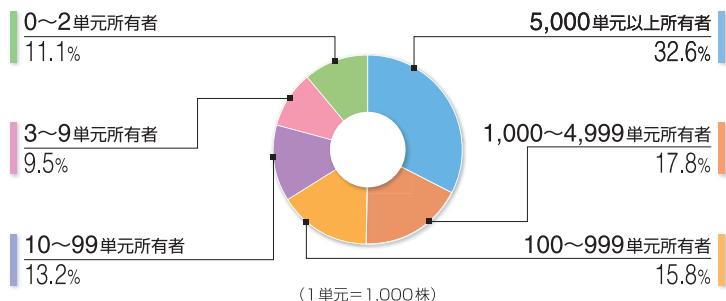
(注) 1. 持株比率は自己株式(17,890株)を控除して計算しております。
2. 第一生命保険相互会社は、平成22年4月1日付で第一生命保険株式会社となりました。

株式分布状況

所有者別株式分布状況



所有単元数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.nichiban.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ----- みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度について

優待制度の目的

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

優待制度の内容

- (1) 対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元(1,000株)以上を保有する株主様を対象といたします。
- (2) 贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,000円程度の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。
- (3) 贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例



ニチバン株式会社

〒112-8663
東京都文京区関口2丁目3番3号
電話：(03) 5978-5601
FAX：(03) 5978-5620

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから——ニチバン

ニチバンに関する情報は
ホームページで
ご覧いただけます。

<http://www.nichiban.co.jp>



QMS EMS
ISO 9001:2000, ISO 14001:2004
JSAQ 117, JSAE 210

当社は、ISO 9001 ISO 14001の
登録をしています。



VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用して印刷しました。



ミックス品

FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです。
www.fsc.org Cert no. SPC-COC-1599
© 1996 Forest Stewardship Council